

八千代市入札契約適正化委員会
令和2年度第2回定例会議 議事概要

日時 令和2年12月24日(木) 午後2時から
場所 八千代市役所 旧館4階第2委員会室

出席委員 高橋委員長, 添田委員, 菊川委員
事務局職員 財務部長, 契約課長, 工事検査室長, 契約課職員3名,
経営企画課長, 経営企画課職員2名
担当課職員 事業担当課職員15名

議題

1 入札及び契約手続の運用状況の報告について

事務局から令和2年4月1日から令和2年9月30日までの間の入札及び契約手続の運用状況等について報告があった。

2 抽出案件の調査審議について

財務部契約課及び上下水道局経営企画課において令和2年4月1日から令和2年9月30日までの間に契約した案件の中から合計6件を抽出し、審議を行った。

(1) 抽出事案1「防災行政用無線デジタル化再整備工事」

【主な質問・意見等】

- 1者のみが応札したということについて、資格の要件を満たす会社はどれくらいあったのか

本工事が可能な推定業者としては44者ございました。

- 資格の点に関しては特段の問題がないように見えるが、1者しか入札をしてこなかった理由を把握しているか。

防災行政用無線のデジタル化再整備は、29年度に親局を整備し、2年目以降に子局を整備し5カ年で完了する計画でございます。

親局を整備した業者以外でも、施工は可能ではございますが、その場合、万が一不具合があったとき責任の所在が不明確になること等を避けたためだと思われま。

- 親局の施工業者は今回の契約業者と同一か。

はい。親局の工事の契約会社は今回と同じ協和テクノロジズ(株)東京本社でございます。

- 1者応札を避けるための対策として、発注する側からも、事業者に入札を促す方法があってもいいと思うが。

一般競争入札の結果、応札者が1者もない状況であれば、指名競争に切り替えて実施する場合がありますが、今回の場合は1者ですが応札があったため切り替えませんでした。1者応札を避ける方策を考えるべきというのは受け止めていきたいと思います。

(2) 抽出事案2「小規模附属物点検業務委託」

【主な質問・意見等】

- 7者が入札に参加して、アジア航測(株)が35.8%と突出して安い額で落札したが、履行に関して問題はないか。

施工内容について業者と十分打ち合わせを行い点検業務に入っております。現在、現地の点検はすべて終了し、今後は点検結果の取りまとめの段階に入っておりますので、業務としては順調に進んでいると考えております。

- 点検業務ということで、物の製造や供給と異なり具体的な成果物はなく、報告書等になるのかと思うが、担当課は成果物を適宜確認しているのか。

成果物については、点検届等写真に収めて納品され、適宜確認しております。

- 積算に対してアジア航測(株)の入札金額の内訳についてどの部分が安いのか把握しているか。

設計積算した予定価格を、直接原価、間接原価、一般管理費等に分けて比較しますと、どこが突出している、落としているということなく全体的に安くなっております。

- 最低制限価格は設けていなかったのか。

八千代市では現在は工事についてのみ最低制限価格を設けておりますので、この入札案件について最低制限価格は設けておりません。

- 落札率が低い場合に、見積金額が安い理由を業者に問い合わせることはあるか。

見積金額が安い理由を業者に問い合わせることはございません。

(3) 抽出事案3「八千代市都市マスタープラン策定業務委託」

【主な質問・意見等】

- 変更契約後の契約金額が、入札金額が第2位の事業者より高いが、本当に変更契約しなければならない内容だったのか。

都市マスタープランは令和5年度から20年後の未来を描くとい

うもので、一般のアンケートに加え、若い人たちの意見を聴くアンケートを業務に追加させていただきました。

また、新型コロナウイルスの影響でスケジュールが押したこともあり、変更契約が必要となりました。

- 低い落札率・安い金額で受注しておいて後から変更契約を申し出てくることについて注意はしているのか

安易に変更契約はするものではないと思いますが、今回は中身を精査し変更契約をいたしました。今後についてはもっと仕様を厳しく精査し、なるべく変更契約のないようにしていきたいと思います。

- 変更契約は市からの申し出であり、業者からの提案というわけではないか。

はい、市からの申し出によるものでございます。

(4) 抽出事案4「指令業務共同運用個別整備機器等賃貸借」

【主な質問・意見等】

- (株)J E C CとN E Cキャピタルソリューション(株)以外にこの業務の機器を揃えられるリース会社はないのか。

5者辞退していますが、辞退理由は会社都合が4者、「商品の取り扱いがない」は1者のみでございます。

- 今回の業務は保守が含まれているが、(株)J E C Cは自身で保守を行うのか。

機器の製造元であるN E Cがすべて行っております。

- 故障対応についてはすべて賃貸借費用の中で、落札した業者で責任をもってN E Cに繋いでいるという理解でいいか。

そのとおりでございます。

- 10市の共同システムということは、他市も同様に調達していると思うが他市の落札率等は把握しているのか？

他市の把握はしておりません。本市では、仕様を見直し削減できるものは極力削減したうえで予定価格を設定したため、落札率が高くなること分かっておりまして、もし不調に終わった場合でもすぐに対応できるようにしておりました。

(5) 抽出事案5「上高野1734番地先配水管改良工事」

【主な質問・意見等】

- 参加業者の入札額が近接している要因は。

入札にあたって各参加業者は、発注者が提供する金額が記載されていない設計書に基づいて、入札額の積算を行います。その設計書では、各項目の数量が詳細に定められており、それらの単価について各業者の積算精度が上がったためにこのような結果になったと考えられます。

- 本工事は改良工事であり、以前に掘削した経験があるため、地質の状況は把握できているのか。また、それが各業者の積算精度の高さに影響しているか。

過去の掘削経験により、地質や埋設物の状況は把握しております。

しかし積算精度の高さについては、設計書の単価を高い精度で把握できていることが大きいと思われれます。その理由としましては、入札及び契約の完了した案件については、情報開示請求をすることで、設計額が記載されている設計書を受け取ることができます。それにより、各業者が単価の調査を行い、またその他の条件の調査等、様々な努力を重ねていることで、精度の高い積算ができていると推察しております。

- 最低制限価格の計算方法は。

最低制限価格の計算方法については、「八千代市最低制限価格取扱要領」によって定められております。設計額の各項目について、それぞれの算定率を掛けてからそれらを足し合わせて算出します。具体的には、直接工事費に0.97、共通仮設費に0.9、現場管理費に0.9、一般管理費等に0.55をそれぞれ掛けてから足し合わせます。さらに設定範囲が予定価格の92%から75%と定められておりますので、算定式に従って計算した結果、予定価格の93%の額になれば、上限額の92%に設定されます。また下限額の75%を下回れば同様に75%となります。

(6) 抽出事案6「八千代1号幹線浸水対策管渠布設（オープンシールド工法上流部）工事」

【主な質問・意見等】

- 受注者は同種工事の実績はあるか。

同工法での実績はありません。

- 低入札価格調査により落札を決定した理由は。

まず、入札額が予定価格に比べ低額であった点は、自社経費について低減できる部分を積み上げた結果で、労務費を含め直接工事費を削減したものではないとのことでした。

その他としては、本工事は特殊工法であり、オープンシールド工法についての協会があり、受注者は本工事の協力会社に同協会の協会員を加え、元請業者として一体となって施工していくと説明しております。また配置予定の監理技術者は工事経験が浅いが、経験豊富な技術者を補佐役で配置し、会社全体として施工可能な体制をとるとの話でした。さらには、地元業者として長年市内のインフラ整備に携わってきた経験があり、新工種を学ぼうとする前向きな意欲が感じられました。

以上を主な理由とし、適正な施工は可能であると判断しました。

○ オープンシールド工法とは。

オープンシールド工法とは、掘削幅が狭い区間で仮設の矢板を布設することが難しい現場において利用するものであります。底面と左右側面の三面に面した「コ」のような形のマシンを土留め代わりとし、前方を掘削し少しずつ進みながらボックスカルバートを並べていくという手順になります。掘削の幅を極力狭くしなければならない工事に適している工法でございます。

3 その他

次回開催日については、令和3年6月から令和3年7月ごろに開催予定とするが、新型コロナウイルスの影響等を考慮し、事務局で調整を行う。

抽出方法及び次回抽出委員については、来年3月をもって現在の委員の任期が切れることから、新たな体制の下で事務局に一任する。

以上のとおり決定した。